

委 託 仕 様 書

業 務 名：天瀬ポンプ場ほか運転管理業務委託

履行場所：岡山市北区京橋南町1番10号ほか

履行期間：平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

第1章 総 則

第1節 一般事項

（目 的）

第1条 本仕様書は、上記業務委託の基本的内容について定める。受託者は公告、仕様書及び図面等（以下「設計図書」という。）に基づいて本市関係職員（以下「監督員」という。）の指示に従って誠実に履行すること。

なお、本業務は設計図書及び業務に関係ある法令・条例等に準拠し、定められた期間内に優秀な技術で履行すること。

（提出書類）

第2条 受託者は、本業務について次の関係書類を提出すること。

1. 課税事業者届	1 部
2. 委託業務着手届	1 部
3. 工程表	1 部
4. 業務主任技術者届	1 部
5. 業務責任者届	1 部
6. 下請負通知書（必要に応じて提出）	1 部
7. 現場写真（A4カラー・工程毎）	1 部
8. 委託報告書	2 部
9. 委託業務完了通知書	1 部
10. その他監督員の指示する書類	1 式

（業務責任者）

第3条 業務責任者は、監督員の監督を受け、契約の履行に関し、その運営、取締り等を行うほか、契約に基づく乙の一切の権限（委託料額の変更、委託期間の変更、委託料の請求及び受領、契約の解除に係るもの等を除く。）を行使することができる。

（条件変更等）

第4条 設計図書に明示のない場合又は疑いを生じた場合等は、直ちに監督員に通知しなければならない。

（官公署その他への手続き）

第5条 この業務履行に必要な届出、手続等は、あらかじめ監督員に関係書類を提出し、その承諾を得た後、受託者がこれを代行する。

これらに要する費用は、特別に本市が指示・指定したもの以外はすべて受託者の負担とする。

(災害防止等)

第6条 本業務の履行に当たっては、作業に従事する者の安全災害防止対策等に万全を期するほか、労働基準法、労働安全衛生法等の作業保安法令に違反することのないよう、特に留意して行うこと。なお、履行中第三者に危害等を与えた場合は受託者の責務において誠意をもって解決すること。

また、業務履行にあたり、監督員と事前に打ち合わせ等を行い、機場の運転管理に支障がでないよう努めること。

(臨機の処置)

第7条 災害防止等のため必要があると認めるときは、臨機の措置をとらなければならない。とった措置の内容は遅滞なく監督員に報告すること。また、本業務履行中において対象の機器等に異常が発見された場合、軽微な異常は調整・修理を行うこと。

(業務用電力等)

第8条 業務履行に必要な電力・用水は、原則として本市が支給するが、使用に際しては、あらかじめ本市の承諾を受けること。

(有資格作業)

第9条 受託者は本業務進捗に関し、法令等の定めるところにより有資格者の常駐等が必要な場合は、受託者の責任義務にて措置し、現場の安全就労と円滑な進捗に努めること。

なお、有資格者等を選任する場合は、作業前に有資格者を証する書類の写しを提出し監督員の承認を得ること。

(弁済復旧)

第10条 本業務の履行に際し、建造物、機器等を損傷しないように十分注意すること。

万一損傷した場合は、監督員の指示に従い同等以上の資材をもって速やかに現状復旧を図ること。なお、復旧に要する費用はすべて受託者の負担とする。

(整理整頓)

第11条 受託者は、本業務の履行期間中および業務完了に際して、監督員の指示に従い履行場所全般の整理・整頓・後片づけおよび清掃等を行うこと。

(別契約の関連作業)

第12条 別契約の関連作業〔工事、修繕、委託等〕については、当該関係者と協力し、履行場所の運転管理をも含め、全体の円滑な進捗を図ること。

(使用工具等)

第13条 本業務の履行に使用する工具及び機器類は、受託者の責任において準備するとともに、使用前には十分に点検整備を実施すること。

ただし、専用工具等を必要とする箇所について、本市の保有する工具が必要な場合は貸し出すものとする。受託者は、専用工具等の貸し出しを受けたときは、遅滞なく借用書を提出し、貸与品の取扱いには十分注意しなければならない。

(使用材料)

第14条 本業務に使用する材料等は高信頼性、耐久性、安全性を具備した高品質のものであり、材料検討等により最適なものを選定し、既設品と同等もしくは同等以上の性能を有する新品とする。同種の製品・部品等は、完全な互換性を有するものでなければならない。また、J I S等、各種法規・規格に制定されているものについては、これに適合しなければならない。

設計図書に表示されていない軽微な部品について交換が必要と考慮されるものについては、受託者が交換すること。

受託者は、貸与品及び支給材料の引渡しを受けたときは、遅滞なく受領書又は借用書を提出し、貸与品及び支給材料の取扱いには十分注意しなければならない。

(発生材の処理)

- 第15条
1. 発生材のうち、特記により引渡しを要するものは、清掃を行い指示された場所に整理のうえ、調書を添えて監督員に引渡すこと。
 2. 発生材のうち、特記により再生資源利用を図ると指定されたものは、構内において分別を行い、所定の再生資源化処理施設等に搬入を行った後、調書を監督員に提出すること。
 3. 1及び2以外の引渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い、適切に処理し監督員に報告すること。

(検査)

第16条 本業務の履行期間中、あらかじめ監督員の指示した工程に達した時は、監督員の検査を受け、承諾を得た後に次の工程に移行すること。

また、本業務完了後、受託者は、本市検査員の指示するとおり検査を受け合格しなければならない。受託者は、検査員の検査に合格しない場合、遅滞なく補修または改造をして再検査を受けなければならない。

(支払い)

第17条 委託料は毎月払いとし、契約金額を12で除して得た額を月額委託料とする。ただし、1円未満の端数が生じるときは、平成28年3月分の委託料に加算して支払うこととする。

第2章 特記事項

第1節 概 要

（委託概要）

第18条 本業務は、天瀬ポンプ場ほかの保守点検・整備・運転操作・監視等維持管理業務の一部を委託することにより、雨水排水・汚水送水の円滑・適正な維持管理を図るものである。

（目的）

第19条 本仕様書は、天瀬・巖井・笹ヶ瀬・岡南・万成・錦・平田・当新田・野殿・古新田・浦安・田中及び北長瀬の各ポンプ場（以下「天瀬ポンプ場等」という。）並びに旭西排水センター（監視室）での雨水排水及び汚水送水を適切に行うことを目的とした運転管理業務の実施について必要な事項を定めるものである。

（業務の履行）

第20条 受託者は、旭西排水センター・天瀬ポンプ場等の運転管理を円滑に行うとともに、機能を十分に達成できるよう契約書・仕様書その他関係書類（以下「契約書等」という。）に基づき、また監督員の指示に従い能率的・経済的に業務を誠実に履行すること。

（業務の期間）

第21条 この業務の契約期間は平成27年4月1日から平成28年3月31日までとする。

（業務の範囲及び履行場所）

第22条 本業務の範囲は、特記仕様書に掲げる施設の範囲とし、履行場所は下記施設所在地先とする。

（1）	天瀬ポンプ場	岡山市北区京橋南町1番10号
（2）	巖井ポンプ場	岡山市北区富町二丁目6番30号
（3）	笹ヶ瀬ポンプ場	岡山市北区野殿西町1番地3
（4）	岡南ポンプ場	岡山市南区築港元町8番8号
（5）	万成ポンプ場	岡山市北区谷万成二丁目12番7号
（6）	錦ポンプ場	岡山市南区藤田2356番地1
（7）	平田ポンプ場	岡山市南区米倉151番地2
（8）	当新田ポンプ場	岡山市南区当新田267番地1
（9）	野殿ポンプ場	岡山市北区野殿西町428番地6
（10）	古新田ポンプ場	岡山市南区古新田990番地1
（11）	浦安ポンプ場	岡山市南区築港栄町10番地2
（12）	田中ポンプ場	岡山市北区田中581番地先
（13）	北長瀬ポンプ場	岡山市北区北長瀬2105番地

（業務の内容）

第23条 業務の内容は次のとおりとする。

- （1）運転操作監視業務
- （2）保守点検業務
- （3）計画的保守点検整備業務

- (4) 雨水対策
- (5) その他特記事項に定める業務
- 2 業務の範囲・内容及び業務の処理の基準は、特記事項による。

(業務時間)

第24条 前条に掲げる業務遂行の時間帯は、次のとおりとする。

- (1) 中央監視室運転操作監視業務（各ポンプ場運転操作監視業務）
 - ・ 夜 間 16時45分から翌日8時45分まで 当直1人体制
 - ・ 土・日及び祝祭日（12月29日～1月3日を含む）の昼間 8時30分から17時まで
- (2) 天瀬ポンプ場等保守点検業務 8時30分から17時まで
- (3) 天瀬ポンプ場等整備修繕業務 8時30分から17時まで
- (4) 雨水対策業務 24時間
- (5) 宿直業務 H27年4月1日からH28年3月31日の間、宿直（1人）を置き非常時には、いつでも対応できる体制をとること。
- 2 従業員の交替に際しては、適正・確実に事務引継を行い、運転機能の向上・維持に万全を期すること。

(提出書類)

第25条 受託者は、業務の契約締結後直ちに次の書類を本市に提出し、承認を得ること。

- (1) 課税事業者届
- (2) 委託業務着手届
- (3) 工程表
- (4) 業務主任技術者届（資格者証（写）若しくは 経歴書を含む）
- (5) 業務責任者届（資格者証（写）若しくは 経歴書を含む）
- (6) 従業員名簿（資格者証（写）若しくは 経歴書を含む）
- (7) 作業計画書
- (8) 現場管理組織表
- (9) 安全管理組織表
- (10) 非常招集連絡表
- (11) 従業員控室等使用願
- (12) その他、本市が必要とする書類
- 2 契約期間が満了した時は、直ちに次の書類を本市に提出し、本市の承認を得ること。
 - (1) 委託業務完了届
 - (2) 委託業務写真帳（A4サイズ）
 - (3) その他、本市が必要とする書類
- 3 上記提出書類の記載事項を変更しようとするときは、変更届を提出し本市の承認を得ること。

(業務責任者の選任)

第26条 受託者は、下水道管理技術認定試験合格者又は下水道法施行令第15条の3の該当者、若しくはこれらと同等の能力を有する者の中から、本業務の業務責任者を選任しなければならない。

(業務責任者の職務)

第27条 業務責任者の職務は、次のとおりとする。

- (1) 受託者の従業員の指揮、監督及び業務処理。(現場研修を随時行い、技術の向上・事故の防止に努め緊急時には、直ちに対応できる状態にしておくこと。)
 - (2) 本業務の履行に関する、本市との業務連絡及び調整。(業務全般を総括し、監督員と緊密な連絡をとり、また従業員との連絡会議を開き、本市より指示された事項を伝達し、業務を適正かつ円滑に遂行すること。また、監督員等と業務打合わせを適宜行い、相互の連絡事項等については、その要旨等を記録すること。)
 - (3) その他本業務の目的達成に必要な事項。
- 2 業務責任者は、本市と緊密に連絡がとれる体制をとらなければならない。

(従業員の配置)

第28条 受託者は、適正に業務を実施するため、旭西排水センター及び各ポンプ場の運転、保守点検や中央監視室運転操作監視業務を実施するために、十分な経験を有する者を15名以上配置すること。

- 2 受託者は、業務遂行に支障をきたさないよう、必要な人員を常に確保し、勤務させること。
- 3 受託者は、従業員の配置転換を行う場合には、あらかじめ本市の承認を受けること。
- 4 従業員が、監督員の職務執行を妨げ、又はその指示に従わず、若しくは業務遂行上著しく不相当と認められる者は、その理由を明示して、受託者に対して職員の変更を指示することができる。

(引継ぎ)

第29条 業務時間開始時と終了時には、業務内容(作業内容、故障等)について当直者及び本市係員と引継ぎを行うこと。

(有資格者の配置)

第30条 受託者は、業務履行の万全を期するため、次に掲げる資格を有する従業員を配置すること。

- (1) 下水道技術者(下水道法第22条第2項、下水道法施行令第15条の3に規定される資格を有する者)を、7名以上配置
- (2) 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者
- (3) 電気工事士
- (4) 電気主任技術者
- (5) 玉掛技能者
- (6) 乙種第4類又は甲種危険物取扱主任者を2名以上配置
- (7) 床上操作式クレーン運転技能講習修了者
- (8) その他業務上必要な資格者、法で定められた資格

(緊急事態発生時の対応)

第31条 受託者は、梅雨・台風・雷・秋雨他による集中豪雨・火災・停電等の緊急事態発生に備え、従業員を天瀬ポンプ場、巖井ポンプ場、笹ヶ瀬ポンプ場、平田ポンプ場、万成ポンプ場及び浦安ポンプ場に、1時間以内に配備できる体制を確立しておくこと。

- 2 緊急事態が発生した場合には、直ちに従業員を所定の場所に配備し、市職員に連絡すること。
- 3 受託者は、第22条で規定する業務履行場所において、緊急事態発生時は対応について市と

協議し、適切に対応すること。対応した経過は、速やかに書面で、市職員に提出すること。

（原状回復義務）

第32条 受託者は、業務が完了した場合には、業務を実施するために使用した施設及び器具を速やかに原状に復さなければならない。

（業務完了後新たな受託者に引継ぐ場合）

第33条 受託者は、業務が完了し、新たな受託者に業務を引き継ぐ場合には施設が正常に稼働するように、本市と協議して必要な措置を講じること。

（従業員控室等の提供）

第34条 業務の履行のため受託者が必要とする従業員控室、資機材置場、用水及び光熱等を受託者に提供するものとし、契約期間中は無償とする。ただし、使用上の管理不備による損害が生じた場合は、その損害を受託者が賠償しなければならない。

（器具資材等の負担区分）

第35条 本業務処理に使用する器具、資材等は全て受託者の負担とする。ただし、次に掲げるものは本市の負担とする。

（１）作業用薬品、作業用燃料、油脂類、補修用塗料及び報告記録用紙

（２）作業上必要な消耗部品及び修理用材料

（３）修繕材料・部品及び特殊器具

（４）その他本市が必要と認めるもの

２ 受託者が使用する電話は、受託者の負担において設置しなければならない。

３ 業務上必要な完成図書及び取扱説明書等については貸与するが、従業員の安全衛生対策及び保守点検簡易故障修理に必要な工具、並びに事務処理上必要な備品等については、受託者が備えなければならない。

（規律維持）

第36条 受託者は、本業務処理に従事する従業員の教育指導に万全を期し、風紀、衛生及び作業規律の維持に責任を負うものとする。

２ 受託者は、受託者の定める制服を着用させ氏名を明示して、受託者の従業員であることを明確にするものとする。

３ 従業員は、作業上義務付けられたヘルメット・保護メガネ・安全用具等の使用、作業服及び作業靴（安全靴）等の着用をすること。

（守秘義務）

第37条 本業務遂行にあたって知り得た相互の秘密を第三者に漏らしてはならない。

（関係法令の遵守）

第38条 受託者は、業務履行にあたっては、労働安全衛生法他関係法令を遵守しなければならない。

（協議事項）

第39条 本仕様書に定めのない事項については、その都度両者協議のうえ別に定めるものとする。

(雑則)

第40条 受託者は、本仕様書に明示されていない事項であっても、本業務遂行上、当然必要な業務は良識ある判断に基づいて、これを行わなければならない。

第2節 業務要領

(毎月の提出書類)

第41条 受託者は、業務の勤務予定表及び保守点検予定表を毎月25日までに翌月分を提出し、監督員と協議をしなければならない。

(保守点検)

第42条 受託者は、監督員と協議して決定した保守点検予定表に従い、誠実にその業務を履行すること。

(保守点検結果)

第43条 受託者は、毎月の保守点検結果を記録してまとめ、翌月5日までに監督員に提出すること。

2 受託者は、点検の結果、異常を発見した場合には、速やかにその状況を監督員に報告し、その対応を協議すること。

(施設の運転)

第44条 受託者は、本市が定める運転基準並びに貸与する機器取扱い説明書及び操作説明書に基づいて、誠実にその業務を履行すること。

(運転記録等)

第45条 受託者は、本市が定めた運転日誌に所要事項を記入し、運転状況等を、翌月速かに監督員に提出すること。また、毎月の雨水対策業務実績表を、翌月5日までに監督員に提出すること。

(機器修理・整備)

第46条 受託者は、保守点検で発見した不良箇所や、故障の発生のうち、備え付け工具、支給材料等を用いて、修理可能なものについては修理すること。ただし、緊急を要する場合には、応急処置を行った後、監督員に報告すること。必要部品及び材料については、本市が購入し支給する。購入品については型番員数等調査し、本市監督員に依頼する。機器の調整等は整備業務の中で行うこと。

2 受託者は、本市の実施する工事・修繕・委託等に伴う運転方法の変更及びそれに伴う必要な軽易な造作は、監督員と協議して実施すること。

(非常時の対応)

第47条 大雨、台風など予測される場合や異常発生時には以下の項目について適切に対応し、その結果を事後、監督員等に報告できるように記録すること。

(1) 予め人員を所定のポンプ場に配置しポンプ運転に備えることとする。

(2) ポンプ場では流入ゲート、自動除塵機、ポンプの運転操作や監視を適時適切に実施すること。その他主機や補機類の点検を行い安定した運転が継続されるよう機器の点検を怠らないこと。

- (3) 現場のポンプ場で異常が発生したときには、中央監視制御室と連絡をとり適切に対応すること。但し、現場で応急対応可能な異常は現場で対処し、その結果を監視室に報告すること。
 - (4) 監視室に市職員（当日担当班長）が不在の場合は班長若しくは所属長（以下「市職員等」という。）に連絡し指示を受けること。
 - (5) 保守点検を実施している施設で緊急事態が発生している場合には、市職員等からの指示により配置可能な人員を現場に配置し、現場の状況を把握すること。その結果を監視室の市職員等に連絡し、連携して復旧に努めること。
 - (6) 万成ポンプ場、平田ポンプ場、当新田ポンプ場、岡南ポンプ場、田中ポンプ場、北長瀬ポンプ場などで雨水ポンプ運転が必要となる降雨が観測された場合は、市職員等に降雨予測や周辺水位などの状況を報告しその指示により、運転操作補助員への連絡等を行い円滑なポンプ運転を行うための情報連携を行うこと。
- 2 浸水、火災、停電など重大故障が発生した場合には、配備可能な人員を当該施設に配置し、その結果を市職員等に直ちに連絡すること。市職員等の指示により以下の業務を行うこととする。
- (1) 被災施設の状況を調査し、その内容について市職員等に連絡すると同時に事後、報告書を提出すること。監視室と現場の交信記録メモを監視室に保管しておくこと。報告書を提出した後はこの限りではない。
 - (2) 汚水や雨水の揚水機能を確保することを最優先に市職員等と連携して応急復旧に努める。
 - (3) 被災した施設の室内、手摺、機械設備、電気設備などの汚染を除去し、電源を遮断するなど、安全を確保した後、簡易洗浄等を実施する。
- 3 地震、津波、豪雨など自然災害が発生した場合には、配備可能な人員の安否確認を行い、その結果を市職員等に連絡すること。市職員等の指示により以下の業務を行うこととする。
- (1) 管理対象施設の被災状況を調査し、その内容について市職員等の連絡すると同時に報告書を提出すること。
 - (2) その他前項各号の規定による。

（照明灯の管理）

第48条 受託者は、照明の点灯など、出来るだけ節電に努めること。又、自動点灯する照明は、点灯時間、消灯時間の調節を行うこと。

（安全、衛生の確保）

第49条 天瀬ポンプ場等には、多くの機械・電気設備等が設置及び酸素欠乏や有害ガスの発生が起るおそれのある箇所が多いため、業務遂行にあたっては安全の確保に十分留意すること。

- 2 受託者は、下水中に種々の細菌や寄生虫卵等が多く含まれるので、衛生には十分留意すること。

（火災の防止）

第50条 受託者は、火元責任者を選び、火気の始末を徹底するとともに、火災の防止に努めること。

（盗難の防止）

第51条 受託者は、設備の機器・備品・工具等の盗難及び不法侵入者の防止に努めること。

(清掃、整頓)

第52条 受託者は、業務場所を適宜清掃するとともに、物品等は常に整理整頓し、清潔に努めなければならない。

(喫煙)

第53条 受託者は、各機場の建物内では喫煙しないこと。

(その他)

第54条 受託者は、旭西排水センター及び天瀬ポンプ場等の運転管理・維持管理に必要な業務を行うこと。

(業務の一部を委託する場合)

第55条 受託者は、事前に監督員の承認を得てから再委託すること。その際には、下請通知書等必要書類を提出すること。

第3節 一般事項

（業務範囲）

第56条 業務の施設範囲は、旭西排水センター（以下「排水センター」という。）、天瀬、巖井、笹ヶ瀬、岡南、万成、錦、平田、当新田、野殿、古新田、浦安、田中及び北長瀬の各ポンプ場（以下「天瀬ポンプ場等」という。）の下記の範囲について行うものとする。別紙添付図（施設平面図等）による指定範囲とする。

（運転操作監視業務内容）

第57条 受託者の行う運転操作監視業務内容は次のとおりとする。なお、詳細は別紙各ポンプ場運転管理フロー（操作マニュアル）及び本市が必要に応じてその都度指示した内容による。

- （1）当直者は、天瀬ポンプ場等の遠方監視制御装置等で各機器（汚水ポンプ及び雨水ポンプ等）の運転操作・監視・記録・その他必要業務を行うこと。
- （2）大雨・雷・その他緊急事態が発生した場合は、当直者が、区域内の浸水防除に完璧を期するために必要な流入渠、ポンプ井等の水位（特に内外水位関係には特に注意すること）、汚水ポンプ及び雨水ポンプ等の運転台数、吐出量、及び待機運転等、予め指示された管理項目を厳守すると共に、万全なる対策を講ずること。又、遠方監視制御装置等による機設備の管理、浸水防除などが困難であると判断される場合は、直ちに待機要員に連絡を行い、人員を配置すると共に、遅滞なく本市係員に通報し、その指示、指導を受けること。
- 2 ポンプ場ほかの運転管理業務においては、年間を通じて、適正で安定した雨水排水及び汚水送水ができるようにしなければならない。

（保守点検業務内容）

第58条 受託者の行う保守点検業務内容は次のとおりとする。なお、詳細は別紙（天瀬ポンプ場等保守点検整備概要）及び本市が、必要に応じてその都度指示した内容による。

- 1 天瀬ポンプ場等の各機器の保守点検・簡易故障修理・各機器の清掃・機器まわりの清掃・監視室内の清掃・天瀬ポンプ場等の敷地内全ての環境整備を行うこと。
- 2 天瀬、巖井ポンプ場については日曜祝祭日を除く日、他のポンプ場については、週に1回以上保守点検業務を行うこと。（錦ポンプ場については、週2回巡回点検を行うこと。笹ヶ瀬ポンプ場については、第68条3項を参照のこと。）
- 3 天瀬ポンプ場等で発生した軽微な故障については、受託者において修繕対応し、その状況を直ちに監督員に連絡すること。
- 4 錦ポンプ場のし渣搬出業務及び立会を行うこと。
- 5 万成・平田・当新田・岡南・錦・浦安ポンプ場における地下タンクの在庫管理及び漏洩検知管検査を週1回以上実施すること。天瀬・笹ヶ瀬ポンプ場については漏洩検知管検査及び地下タンク残量を毎日（平日及び土日祝祭日）測定しSIR（スマートモニタリング）に入力を行うこと。又測定に併せて地下重油タンク、室内燃料小出槽及び重油配管設備の目視点検を併せて行うこと。
- 6 各ポンプ場について、運転点検記録等を市が指定する様式で作成・提出するものとする。

（雨水対策業務内容）

第59条 受託者は、雨水対策業務を天瀬ポンプ場、万成ポンプ場、平田ポンプ場、巖井ポンプ場、浦安ポンプ場及び笹ヶ瀬ポンプ場で行うこと。内容については、次のとおりとする。

- 1 大雨・雷雨・その他緊急事態が発生した場合、又は、本市より連絡があれば、直ちに区域内的の浸水防除対策に必要な、汚水ポンプ及び雨水ポンプ等の運転操作並びに流入水位・ポンプ井水位・各機器等の監視・記録及び各機器の故障復旧作業等、本市が定めた管理要項を厳守すると共に、万全なる対策を講ずる業務（以下「雨水ポンプ等運転操作業務」という。）を行うこと。
- 2 天瀬ポンプ場、巖井ポンプ場、平田ポンプ場、万成ポンプ場、浦安ポンプ場及び笹ヶ瀬ポンプ場については、各機場で、雨水ポンプ等運転操作業務を行うこと。
- 3 天瀬ポンプ場、巖井ポンプ場及び笹ヶ瀬ポンプ場については、大雨・雷雨・洪水注意報・警報等の発令された日や、高強度の降雨が観測された時などは、年間を通して、2人以上の従業員を、予め各機場に常駐させることを原則とし、平田ポンプ場、万成ポンプ場及び浦安ポンプ場についても従業員を現場に配置し、雨水排除のための運転操作を行うこととする。
- 4 浦安ポンプ場の雨水ポンプ等運転操作業務については、原則として機場内において、雨水ポンプ等運転操作業務を行うが、必要に応じて巡回運転管理とすることができる。
- 5 緊急事態発生時等は市の要請により第22条で規定する場所に要員を配置し適切に対応すること。

（監視制御装置故障対策）

第60条 受託者は、監視制御装置が故障しても業務を誠実に履行できるように、常に取扱説明書を熟読し、緊急時に対応できる体制を整えなければならない。

（文献の活用）

第61条 受託者は、点検整備を「河川ポンプ設備 点検・整備・更新検討マニュアル(案)」及びポンプの運転を「ポンプ施設の建設と管理」によって実施するほか、下水道維持管理指針等の文献を充分に活用すること。

（場内門扉等の施錠管理）

第62条 受託者は、ボイラー棟、各ポンプ場で、施設管理上施錠を要する扉、窓その他監督員等が指示する門扉等を、通常作業完了後又は監督員等の指示時間に施錠し、消灯等適正管理に努めること。

（相互連携）

第63条 受託者は、各設備、機器の運転操作範囲での、責任ある業務の執行に専念すると共に、相互連絡・相互協力を必要とする運転操作監視業務（合流改善施設・旭西排水センター施設・中央監視室等）は、十分な業者間連携と相互信頼構築により、維持管理の完璧を期すること。又、調整等業務の円滑執行に必要な場合、監督員等と協議し、その指示、指導に従うこと。

（研修期間）

第64条 受託者は、落札後迅やかに現場確認と運転体制確保のため、作業員の研修を各機場において行うこと。但し、その間の業務は無償とする。

（その他）

第65条 天瀬ポンプ場等の運転管理・維持管理に必要な軽微な業務は、受託者において行うこと。

第4節 整備概要及び主要機器

天瀬ポンプ場等保守点検整備概要（一般機場）

名 称	日常業務 ・ 点検内容	点検頻度
沈砂池設備	機器外観点検・異常（振動・異音・異臭）等の確認 制御盤確認（計器指示, 切替スイッチの位置等） 潤滑油量及び汚れ点検 油脂類の補給, 交換 各機器の動作確認 し渣及び沈砂ホッパーの貯留状況確認 施設及び機器の清掃 揚砂設備の運転, 沈砂池除砂, 除塵作業 〃 〃 〃 〃 自動除塵機, し渣搬送装置, し渣洗浄装置, し渣ホッパー等の清掃 沈砂池等のスカム除去作業 手搔スクリーンの除塵 その他	巡回毎 〃 毎 週 随 時 毎 週 毎 週 随 時 毎月（汚水） 随時（雨水） 毎 週 毎 週 随 時
ポンプ設備	機器外観点検・異常（振動・異音・異臭）等の確認 制御盤確認（計器指示, 切替スイッチの位置等） 空気圧, 燃料, 冷却水及び潤滑油量汚れ等の確認 油脂類の補給, 交換 空気洩れ, 油洩れ, 水洩れ等の点検（配管ピット内外） 各機器の動作確認 空気槽, 圧力タンク等のドレーン抜き クーリングタワー、同ストレーナー、高架水槽、冷却水ポンプ等一連のエンジンの冷却設備点検 施設及び機器の清掃 汚水ポンプその他補機類の切り替え ポンプ運転時間, 燃料使用量等記録 その他	巡回毎 〃 毎 週 随 時 巡回毎 毎 週 毎 週 毎 週 随 時 毎 月 毎 月
脱臭設備	機器外観点検・異常（振動・異音・異臭）等の確認 制御盤確認（計器指示, 切替スイッチの位置等） 各機器の動作確認 施設及び機器の清掃 機器の切り替え及び, 薬液タンク量の確認 脱臭風量, マノメーター等の確認 その他	巡回毎 〃 毎 月 随 時 毎 月 毎 月

名 称	日常業務・点検内容	点検頻度
受変電設備	機器外観点検・異常（振動・異音・異臭）等の確認 計器指示・表示灯・切り替えスイッチの位置等確認 盤の外表面清掃 その他	巡回毎 〃 随 時
直流装電置源	受変電設備に準ずる バッテリーの液面, 温度確認, 比重, 電圧等の測定及び, 確認 充電作業 その他	毎 月
自家発電設備	受変電設備に準ずる 燃料残量記録 燃料使用量 補機類動作確認 その他	巡回時 毎 月 毎 月
遠方監視装制置御	計器指示, 表示灯の確認, 計器指示等の記録及び入力 汚水ポンプその他の運転操作, 制御, 監視 動作確認 表示灯の取替え 画面及び盤表示の確認 操作場所の切替え確認 その他	巡回時 〃 毎 月 随 時 〃 〃
計装機器	作動状況確認 記録紙, インク等の交換 受信器・発信器類の外観確認 その他	巡回時 随 時 隔 月
その他の	施錠状況, 建物外観異常等の確認 給排気設備の動作確認 照明設備の点灯状況確認 クレーン等の試運転 電力・水道・薬品残量等の確認, 記録 地下燃料タンク漏洩検査、残量の確認, 記録及び地下タンク、室内燃料小出槽、重油配管設備の目視点検（天瀬、笹ヶ瀬は毎日） 消防用設備状況確認 ゲート設備動作確認 建設設備状況確認 土木・建築物等の外観確認 場内及び機場周辺の修景及び環境状況の確認・清掃・除草・樹木灌水 ※ 岡南ポンプ場・錦ポンプ場・笹ヶ瀬ポンプ場・野殿ポンプ場・浦安ポンプ場（吐出水路上部含）については、毎月必要に応じて除草（錦Pは樹木灌水含）を行い、適当な場所に集積すること。 その他運転・維持管理における必要業務	巡回時 毎 週 毎 月 隔 月 巡回時 毎 週 隔 月 年 次 年 次 年 次 巡回時

天瀬ポンプ場

1 雨水ポンプ

(1) NO.1 雨水ポンプ

横軸渦巻形 $800\text{mm} \times 84\text{m}^3/\text{min} \times 160\text{ps}$

(2) NO.2 雨水ポンプ

立軸斜流形 $800\text{mm} \times 84\text{m}^3/\text{min} \times 210\text{ps}$

(3) NO.3 雨水ポンプ

横軸斜流形 $1,000\text{mm} \times 132\text{m}^3/\text{min} \times 320\text{ps}$

(4) NO.4 雨水ポンプ

横軸斜流形 $1,200\text{mm} \times 200\text{m}^3/\text{min} \times 340\text{kw}$

(5) NO.5 雨水ポンプ

横軸斜流形 $1,200\text{mm} \times 200\text{m}^3/\text{min} \times 520\text{ps}$

(6) NO.6 雨水ポンプ

横軸斜流形 $1,000\text{mm} \times 132\text{m}^3/\text{min} \times 320\text{ps}$

2 汚水ポンプ

(1) NO.1 汚水ポンプ

立軸斜流形 $400\text{mm} \times 21\text{m}^3/\text{min} \times 30\text{kw}$

(2) NO.2 汚水ポンプ

立軸斜流形 $600\text{mm} \times 47\text{m}^3/\text{min} \times 75\text{kw}$

(3) NO.3 汚水ポンプ

立軸斜流形 $500\text{mm} \times 33\text{m}^3/\text{min} \times 40\text{kw}$

3 自動除塵機

(1) 背面降下前面かき上げ式（沈砂池）

$2,200\text{mmW} \times 4,350\text{mmH} \times \text{有効目幅}25\text{mm} \times 1.5\text{kw}$ 6 台

(2) チェーン式背面降下前面かき上げ形（NO. 7）

$2,000\text{mmW} \times 4,463\text{mmH} \times \text{有効目幅}25\text{mm} \times 1.5\text{kw}$ 1 台

(3) 間欠式前面かき揚げ形

$4,070\text{mmW} \times 2,600\text{mmH} \times \text{有効目幅}25\text{mm} \times 2.2\text{kw}$ 1 台

4 揚砂機

駆動水ポンプ

$150\text{mm} \times 2.8\text{m}^3/\text{min} \times 70\text{m} \times 55\text{kw}$ 1 台

空気混入式ジェットポンプ

$80\text{mm} \times 0.5\text{m}^3/\text{min} \times 21\text{m}$ 3 台

5 脱臭設備

活性炭吸着式 $64\text{m}^3/\text{min}$

脱臭ファン

$32\text{m}^3/\text{min} \times 220\text{mmAq} \times 3.7\text{kw}$ 2 台

巖井ポンプ場

1 雨水ポンプ

(1) NO.1 雨水ポンプ

横軸斜流形 $1,300\text{mm} \times 240\text{m}^3/\text{min} \times 390\text{ps}$

- (2) NO.2 雨水ポンプ
横軸斜流形 1,300mm×240m³/min×420ps
- (3) NO.3 雨水ポンプ
横軸斜流形 1,300mm×240m³/min×300kw
- 2 汚水ポンプ
- (1) NO.1 汚水ポンプ
立軸斜流形 700mm×65m³/min×65kw
- (2) NO.2 汚水ポンプ
立軸斜流形 500mm×33m³/min×37kw
- (3) NO.3 汚水ポンプ
立軸斜流形 500mm×33m³/min×30kw
- 3 自動除塵機
ピンラック式
2,400mmW×4,477mmH×有効目幅20mm×1.5kw×2 2台
2,400mmW×4,477mmH×有効目幅25mm×1.5kw×2 3台
- 4 揚砂機
バケットコンベヤ形（埋没防止形）
NO.1,2 汚水沈砂かき揚げ機 2.4m³/min×3.7kw 2台
3,000mmW×6,200mmH×20,000mmL
NO.3,4,5雨水沈砂かき揚げ機 2.2m³/min×2.2kw 3台
3,000mmW×6,200mmH×20,000mmL
- 5 脱臭設備
活性炭吸着式 100m³/min
脱臭ファン
50m³/min×260mmAq×5.5kw 2台
- 6 し渣洗浄設備
- (1) し渣洗浄機
機械攪拌式（2ハールセーター） 2m³/hr×スクリーン目幅3mm 1台
- (2) 流水トラフ
流水トラフ移送水ポンプ
水中汚水ポンプ（脱着式）100mm×1.6m³/min×10m×5.5kw
- (3) 沈砂洗浄機
ダブルチェーン式トラフコンベヤ 6.16m³/hr×3.7kw
- (4) し渣脱水機
連続式フロンシヤプレス 2m³/hr以上×7.5kw

笹ヶ瀬ポンプ場

- 1 雨水ポンプ
- (1) NO.1,2 雨水ポンプ
横軸斜流形 1,000mm×144m³/min×240ps 2台
- (2) NO.3 雨水ポンプ
横軸斜流形 1,500mm×300m³/min×500ps 1台
- (3) NO.4,5 雨水ポンプ
横軸斜流形 1,800mm×450m³/min×700ps 2台

2 自動除塵機

走行式自動除塵機	ピンラック式	
2,300mmW×6,100mmH×有効目幅50mm		2 台
×1.5kw×2 (レーキ, 走行)		
×5.5kw×1 (側板)		

3 揚砂設備

クラブバケット付き橋形クレーン	
定格荷重 0.6 t	
バケット容量 0.3m ³	

岡南ポンプ場

1 雨水ポンプ

(1) NO.1,2 雨水ポンプ

横軸斜流形	1,500mm×342m ³ /min×370ps	2 台
-------	--------------------------------------	-----

(2) NO.3 雨水ポンプ

横軸斜流形	1,500mm×342m ³ /min×270kw	1 台
-------	--------------------------------------	-----

2 自動除塵機

背面降下前面かき上げ形		
2,150mmW×3,400mmH×有効目幅50mm×1.5kw		6 台

万成ポンプ場

1 雨水ポンプ

(1) NO.1,2 雨水ポンプ

立軸斜流形	1,500mm×288m ³ /min×850ps	2 台
-------	--------------------------------------	-----

2 自動除塵機

背面降下前面かき上げ形		
4,000mmW×6,370mmH×有効目幅50mm×3.7kw		2 台

第1ポンプ場 (錦)

1 汚水ポンプ

水中ポンプ	400mm×18m ³ /min×37kw	3 台
-------	----------------------------------	-----

錦ポンプ場

1 汚水ポンプ

立軸斜流形	800mm×80m ³ /min×37kw	3 台
-------	----------------------------------	-----

2 自動除塵機

背面降下前面かき揚式		
3,000mmW×4,400mmH×有効目幅30mm×1.5kw		1 台

3 No.1 し渣搬出機

トラフ型ベルトコンベア		
600mmW×10,000mm L×1.5kw		1 台

4 No.2 し渣搬出機

トラフ型ベルトコンベア (横棧付)		
600mmW×8,650mm L×1.5kw		1 台

- 5 し 渣洗浄設備
 - (1) し 渣洗浄機

機械攪拌式	$1\text{ m}^3/\text{hr} \times \text{スクリーン目幅}6\text{mm}$	1 台
-------	--	-----
 - (2) し 渣脱水機

スクリュープレス式	$1\text{ m}^3/\text{hr以上} \times 5.5\text{kw}$	1 台
-----------	--	-----
- 6 No.3 し 渣搬出機

急傾斜型ヘルトコンベア (横棧付)		
	$600\text{mmW} \times 8,650\text{mmL} \times 1.5\text{kw}$	1 台
- 7 ポンプ井攪拌機

着脱式水中攪拌機		
	攪拌容量 $154\text{ m}^3 \times \text{羽根車径 } 580\text{mm} \times 5.6\text{kw}$	1 台
- 8 脱臭設備

活性炭吸着式	$40\text{ m}^3/\text{min}$	
脱臭ファン		
	$40\text{ m}^3/\text{min} \times 200\text{mmAq} \times 3.7\text{kw}$	1 台

平田ポンプ場

- 1 雨水ポンプ

横軸斜流形	$1,500\text{mm} \times 327\text{ m}^3/\text{min} \times 500\text{ps}$	2 台
-------	---	-----
- 2 自動除塵機

背面降下前面かき上げ形		
	$5,000\text{mmW} \times 4,500\text{mmH} \times \text{有効目幅}50\text{mm} \times 3.7\text{kw}$	2 台

当新田ポンプ場

- 1 雨水ポンプ
 - (1) NO.1雨水ポンプ

立軸斜流形	$1,500\text{mm} \times 345\text{ m}^3/\text{min} \times 460\text{kw}$	1 台
-------	---	-----
 - (2) NO.3雨水ポンプ

立軸斜流形	$1,500\text{mm} \times 305\text{ m}^3/\text{min} \times 1000\text{ps}$	1 台
-------	--	-----
- 2 高段系自動除塵機

背面降下前面かき上げ形		
	$5,000\text{mmW} \times 5,200\text{mmH} \times 3.7\text{kw}$	1 台
- 3 低段系自動除塵機

背面降下前面かき上げ形		
	$5,000\text{mmW} \times 9,400\text{mmH} \times 3.7\text{kw}$	1 台

野殿ポンプ場

- 1 汚水ポンプ

水中汚水ポンプ (着脱式)		
	$400\text{mm} \times 21\text{ m}^3/\text{min} \times 10\text{m} \times 55\text{kw}$	1 台
	$300\text{mm} \times 11\text{ m}^3/\text{min} \times 10\text{m} \times 30\text{kw}$	2 台

2	ポンプ井攪拌機（着脱式）		
	水中ミキサー		
	8.2m ³ /min×1.5kw	1 台	
	9m ³ /min×2.4kw	1 台	
3	破碎機		
	2 軸差動回転カッター式		
	1m ³ /hr×7.5kw	2 台	
4	自動除塵機		
	間欠式		
	1,500mmW×2,900mmH×有効目幅50mm×2.2kw	2 台	
5	脱臭設備		
	活性炭吸着式	30m ³ /min	
	脱臭ファン		
	30m ³ /min×200mmAq×2.2kw	1 台	

古新田ポンプ場

1	汚水ポンプ		
	着脱式水中汚水汚物ポンプ		
	φ350×14.5m ³ /min×11m×45kw	2 台	
2	自動除塵機		
	連続式自動除塵機		
	W1,200H×3,000×目巾25mm	1 台	
3	し渣脱水機		
	スクリーンプレス脱水機		
	1.0m ³ /h×3.7kw	1 台	
4	し渣洗浄機		
	機械攪拌式し渣洗浄機		
	1.0m ³ /h×(3.7kw+0.75kw)	1 台	
5	脱臭設備		
	活性炭吸着式	26m ³ /min	
	脱臭ファン		
	26m ³ /min×200mmAq×1.65kw	1 台	

浦安ポンプ場

1	雨水ポンプ		
	(1) NO.1雨水ポンプ		
	二床式立軸斜流形		
	800mm×80m ³ /min×6.1m×132kw	1 台	
	(2) NO.2,3雨水ポンプ		
	二床式立軸斜流形（高流速・高比速度形）		
	立軸ガスタービン駆動（使用燃料:灯油）		
	1,500mm×356m ³ /min×6.3m×550kw	2 台	

2 自動除塵機

(1) NO.1自動除塵機

背面降下前面かき上げ形

1,200mmW×6,200mmH×1.5kw 1台

(2) NO.2自動除塵機

背面降下前面かき上げ形

4,400mmW×6,200mmH×2.2kw 1台

(3) NO.3自動除塵機

背面降下前面かき上げ形

4,400mmW×6,200mmH×3.7kw 1台

田中ポンプ場

1 雨水ポンプ

(1) NO.1,2,3雨水ポンプ

軸流コラム型水中ポンプ

900mm×107m³/min×3.1m×90kw 3台

2 自動除塵機

(1) 連続式自動除塵機

ダブルチェーン式背面降下型

3,600mmW×2,450mmH×3.0kw 1台

北長瀬ポンプ場

1 雨水ポンプ

(1) NO.1,2雨水ポンプ

軸流コラム型水中ポンプ

900mm×100m³/min×3.6m×90kw 2台

2 自動除塵機

(1) 連続式自動除塵機

ダブルチェーン式背面降下型

1,400mmW×4,100mmH×1.5kw 1台

第5節 笹ヶ瀬ポンプ場の運転、保守点検整備業務及び勤務時間

(業務概要)

第66条

笹ヶ瀬ポンプ場において、設備機器の保守点検、雨水ポンプ及び沈砂池設備運転操作を行うものである。

(注意事項)

第67条

巖井ポンプ場の運転と密接な関係があるので、ポンプの運転方法については巖井ポンプ場の雨水ポンプを運転する前には、前処理を行うこと。6月頃の藻刈りの時期には、除塵機運転及び点検を十分行い、スクリーンにし渣がかかっていない状況にすること。

(業務の内容)

第68条 業務の主な内容は次のとおりとする。

1 定期点検等（保守点検業務）

(1) 日常（簡易）点検

別紙点検表（参考）に基づき、主ポンプ及び沈砂池除塵機等の日常（簡易）点検を行うものとする。

(2) 月例点検

別紙点検表（参考）に基づき、管理運転を行うものとする。なお、月例点検の直前に出水による排水運転が行われたときは、月例点検に相当した点検を実施した時に限り監督員と協議の上、日程を変更することができる。

2 運転時点検

始動条件の確認と連続運転性能の確保のため、運転に際しての異常の有無を確認する。

3 主ポンプ等運転操作作業（雨水対策業務）

運転が必要となった場合、速やかに運転操作員を現地に配置すること。

運転操作作業

①雨水対策 除塵機等の沈砂池設備の運転操作及びポンプ設備機器の運転操作

②日常業務 8:30～17:00 1人体制

3日以上／週、6月15日～9月31日まで

2日以上／週、6月1日～6月14日まで

2日以上／週、10月1日～11月30日まで

1日以上／週、12月1日～3月31日まで

4 その他業務

(1)場内の環境整備（草刈り、その他作業）

(2)野殿ポンプ場草刈は笹ヶ瀬ポンプ場日勤者が行ってよい。（但し、携帯電話を携帯し常に連絡を取れる状態にしておくこと。）

(3)笹ヶ瀬ポンプ場の運転に関しては徹底した運転訓練を行い、あらゆる故障に対応できるようにしておくこと。

(4)除塵設備は日常の点検を特に厳密に行い、雨水ポンプ起動前（流入ゲート開操作前に自動運転すること。）から運転すること。

(5) 地下燃料タンク漏洩検査及び残量の確認, 記録は毎日行うこと。(地下重油タンク、室内燃料小出槽及び重油配管設備の目視点検を併せて行うこと。)

(6) 危険作業は巡回点検者と協力し、2人以上で行うこと。

※点検内容等は「下水道維持管理指針（日本下水道協会）」等を参考とする。

第6節 計画的保守点検整備業務

（業務概要）

第69条 本業務は第58条に記載されている施設の計画的な機器分解保守点検整備、緊急修繕、応急復旧等、機器の適切な保全管理を行うとともに、小修繕等を行うことにより運転管理を適切に行うものである。また、機器等の故障及び異常原因を調査し、その対策を立て修理等を行い正常な状態にすること。また、専門業者でしかできない修理については本市監督員に報告しその指示に従うこと。

（施行計画書）

第70条 上記の業務を実施するにあたり、年間の保守点検整備施行計画書を作成し計画的に機械電気設備等の保守点検整備を行うこと。施行計画書作成にあたり予め市と協議し提出すること。

（作業用資材機材）

第71条 第35条の負担区分によるものとする。

（2）市から提供された作業用資材機材は、適正に管理するとともに在庫管理を帳簿で行い常時備えていなければならない。

（有資格者の配置）

第72条 本業務の第69条を実施するにあたり、第30条で定める資格者を配置するなど業務実施に必要な有資格者を配置し、業務を実施しなければならない。

（作業開始終了報告）

第73条 毎月の作業計画について1ヶ月分の計画書を前月25日までに市に提出すること。修正がある場合は速やかに修正計画書を提出すること。業務を行うにあたり市と協議すべき事項がある場合は速やかに協議し、その後、業務を行うこと。

（2）作業当日は当直業務の引継ぎ時に作業予定、作業終了状況を書面で報告すること。

（3）翌月5日までに保守点検整備実績報告書を市に提出すること。

（整備記録の調整保存）

第74条 保守点検整備、修繕実績の記録を調整し保存しておくこと。

（雨水対策）

第75条 この作業班は第59条に記載されている施設運転操作を実施するとともに、現場機器に異常発生時は現場に出向き異常復旧作業を実施すること。人員配置は、天瀬ポンプ場、巖井ポンプ場、笹ヶ瀬ポンプ場、浦安ポンプ場、万成ポンプ場及び平田ポンプ場に優先的に人員配置を行うこと。あらゆる故障に対して、対応できるよう常時故障想定し訓練すること。各ポンプ場の水位関係、燃料関係、冷却水関係、空気関係等雨水ポンプ運転に関することの把握は完璧であること。

（緊急対応）

第76条 緊急対応業務を着手するにあたり、予め市に連絡し指示を受けて業務を実施すること。業務終了後直ちに市に報告すること。緊急を要しない小修繕は保守点検整備計画に含めて実施すること。

(保守点検整備技術の保持向上)

第77条 第2章第4節に記載されている施設の機器の特性を熟知すること。

(2) 技術情報の収集に努め、技術力向上を図ること。

(点検整備業務の概要)

第78条 計画的点検整備業務は以下の業務を重点的に行うこと。

- (1) ゲート本体の駆動装置点検整備
- (2) 雨水ポンプ補機点検整備
- (3) 雨水ポンプ減速機点検整備
- (4) 雨水ポンプ駆動用エンジン付属機器及び補機点検整備
- (5) 雨水ポンプ吐出弁駆動装置点検整備
- (6) 汚水ポンプ吐出弁駆動装置点検整備
- (7) 汚水ポンプ塗装補修整備点検
- (8) 計装機器補修整備点検
- (9) 除塵機本体駆動装置、し渣洗浄設備、貯留搬送設備整備点検
- (10) 汚水雨水ポンプ場に設置している上記以外の機器は本市監督員の指示があれば整備点検を行うこと。